

平成22年度 調査研究事業

栃木の子どもの規範意識調査（小・中・高）

# 報 告 書

平成23年 3 月

栃木県総合教育センター



## はじめに

今日、学校の内外における暴力行為やいじめ等の問題に加え、インターネットに絡む問題行動も顕在化してきています。また、青少年犯罪の凶悪化・低年齢化も問題となっています。このような状況の中で、児童生徒の健全育成を図るために、問題行動を未然に防止し、規範意識を醸成していくことは、引き続き重要な課題となっております。

栃木県教育委員会では、「心の教育の推進」を施策体系の「視点」の一つに位置付け、様々な施策を展開してきました。これを受けて栃木県総合教育センターでは、子どもたちの生活の現状と問題点の把握に努め、子どもたちの心を健全に成長させるための方策を探ってきました。平成15、16年度には、子どもの生活に着目した「児童生徒の生活状況調査」、平成17年度には、子どもの規範意識に着目した「子どもの生活に関するアンケート」、平成18、19年度には、人間関係づくりに着目した「学校生活についてのアンケート」「児童生徒のコミュニケーションに関するアンケート」、平成20、21年度には、「栃木の子どもの生活状況調査」を実施し、それらの結果をもとに望ましい指導の在り方を提案してきました。

平成22年度は、平成17年度の「子どもの生活に関するアンケート」の調査項目を見直して、「栃木の子どもの規範意識調査」を実施し、その結果を5年前の調査と比較するとともに、新たな方法で分析を加え、学校や家庭における子どもの規範意識醸成に向けた指導の在り方についてまとめました。

栃木の子どもたちの育成に関わる方々に、この調査報告書を役立てていただければ幸いです。

平成23年3月

栃木県総合教育センター所長

瓦井千尋

## 目 次

1章 調査研究報告	
1 研究の背景と目的	1
1.1 近年の子どもの現状から	
1.2 先行研究より	
1.3 研究目的	
1.4 研究の活用	
2 研究の内容	3
2.1 研究計画	
2.2 調査用紙の作成	
2.3 調査の実施について	
2.4 分析の方法	
3 研究の結果と考察	6
3.1 H17との比較結果	
3.2 規範意識を醸成する指導のアプローチ	
3.3 規範意識を醸成する具体的な指導の手がかり	
3.4 いじめを防ぐ指導の在り方	
4 研究のまとめ	19
付記：統計的分析手法の活用について	
2章 資料	
1 調査用紙「子どもの生活や考えに関するアンケート」	22
2 調査集計結果と分析結果（研究報告内のデータ）	
3 その他の分析結果	

「1章 調査研究報告」は、1年間の調査研究の成果を、調査結果や図表を添えて、20ページにまとめたものである。（※リーフレットは、これらを6ページにまとめた概要版）

「2章 資料」は、実際に調査で使用した調査用紙（質問項目）や、詳しい調査結果（再掲を含む）を示した。

また、研究報告の中では考察を行っていない詳細な分析結果（例えば、学年別、男女別の結果など）も、「3 その他の分析結果」に掲載したので、参考にしていただきたい。